

# 金剛寶戒寺便り

<http://www.houkaiji.jp>

令和元年八月一日発行 第六十五号

檀信徒の皆さま、こんにちは。この度の南九州地方での豪雨で被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

さて七月の講習会では住職が「施餓鬼供養の由来と功德」と題してお話をさせて頂きました。餓鬼とは生前中に自分や自分の家族だけが満足をすれば良いと思いい、生活を送った人たちが落ちる世界です。その餓鬼道にお釈迦様の十大弟子の一人である阿難尊者が落ちにならない為に行った供養や、目連尊者が餓鬼になった母親を救うために供養をした話が起源になっています。また目連尊者が行った供養の季節が日本のお盆の時期と近いために、盆供養の起源になったとも言われています。しかしながら本来は時期などを決めずに随時行われるのが施餓鬼供養であり、私が高野山で修行をしていた時には毎晩、就寝前に行っておりました。

私は餓鬼道を含む六道の世界は想念の世界だけでなく、私たちの現実世界にも存在をしている様に思えてなりません。それは、人間誰しもが「自分さえ良ければ」と言った心を本能として持っている気がするからです。また、餓鬼とはいわゆる成仏出来ない霊魂ですので、それらを鎮魂し廻向する事は、先祖供養とは違った意味合いでの功德があると

思っています。それ故にお釈迦様も施餓鬼供養の大切さを説き、僧侶が毎日行う修行方法の一つとして持ち入れられているのだと思います。

被災地でのボランティア活動が板についたと感じる反面、最近耳にする悲惨な事件や事故の多くは、何かに憑依をされているのではないだろうかと思える程に、自分勝手な考えが犯罪に繋がっています。煽り運動ばかり、身内での虐待、いじめ、京アニの放火事件などもそれに含まれると思います。誰もが持ち得ている「自分勝手な心」を省みるためにも施餓鬼供養とは大切な供養であることに参加者の皆様にはお伝え出来たのではないかと思っています。

九月八日(日曜日) 午後二時から

演題「偉人に学ぶ」

住職がお話をさせて頂きます。

これまでの講習会とは少し趣旨を変えてお話をさせて頂こうと思っています。また、講習会の後には病氣平癒等の祈願も兼ねてお施餓鬼供養を予定しています。是非ご参加ください。

以前の宝戒寺便りでもお知らせをいたしました。今年、今年の秋に特別伝道大会が大分で開催をされます。昨年十一月に就任されたばかりの葛西管長猊下を御導師にお招きして受戒、お守り加持、ご法話、大念珠繰りを行います。

他にも護摩祈願や八十八カ所お砂踏みなど盛りだくさんですが、総勢三百人規模で行う大念珠繰りは全国でも前例のない試みです。詳細は別紙をご覧ください。なお締め切りは秋のお彼岸明けの九月末日です。お寺からバスを出しての参拝を予定しています。参加人数も限られますので希望される方はお早めに申込をお願い致します。

日にち 十月二十四日(木曜日)

時間 十時から十二時半 (終了予定)

「管長猊下ご親修 特別伝道大分大会」

会 所 中津耶馬溪 弘法寺

毎年恒例の千巻心経と供養盆踊りを今年も行います。規模は違いますが千巻心経は当山で毎年行っているお数珠繰りです。初盆をお迎えの方は特にご参加ください。

日にち 八月二十一日(水曜日)

時間 午後五時から 千巻心経

午後七時から 供養盆踊り

会 所 金剛宝戒寺

お盆のお墓参りに来られてアスファルト舗装に驚かれた方もいらっしゃるかと思います。七月の上旬に無事に工事も終わりました事をご報告致します。これまでは石などでつまずきやすかったですが、ぬかるむことも無く、歩きやすくなりました。寄進をして下さった小橋昭子さま本堂にありがとうございます。お参りのしやすいお寺を目指します。 合掌